

.....日本フォーク界の最強レジェンド・あがた森魚が、デビュー50周年を経て藍住町に奇跡の降臨！ すべての同志諸君は、歴史的ステージを見逃すな！.....

あがた森魚ライヴ MORIO AGATA LIVE

★「ボブ・ディランと玄米」2023 in 藍住町

▼写真上||50周年4枚組61曲入りベスト「ボブ・ディランと玄米」(フリッツ)

写真中||あがた森魚・今村守之『愛は愛として何になる』(小学館書影)

写真下||あがた森魚(撮影者||Gan [Gokuraku images])



前売券販売所 ●藍住町総合文化ホール事務室 ●小山助学館本店(徳島市万代ふ頭) ●フクタレコード(徳島市東新町) ●カフェ・アールونس(徳島市役所そば) ●ジャクソンス同 ●エミール・カルチャー(徳島市庄町)
★電話予約もOKです。実行委員会・小西(電話)〇八〇・六三八六・二九四六までお気軽にどうぞ。
入場料 ●前売三〇〇〇円(当日三五〇〇円).....小学生未満の方は入場できません

二〇二三年六月十一日(日)午後二時半開演(午後二時開場) ◆四国徳島 ◆藍住町総合文化ホール◎大ホール

主催 ●あがた森魚ライブin藍住町実行委員会(小西)〇八〇・六三八六・二九四六.....共催 ●藍住町総合文化ホール.....
後援 ●朝日新聞徳島総局、徳島新聞社、毎日新聞徳島支局、読売新聞徳島支局、四国放送、FM徳島、FMびざん、テレビトクシマ、あわわFM、めぐる、さらら、タウン情報トクシマ、徳島ギター協会

★「彼はイギー・ポップなんだと思った。(略)二人に共通しているのは声ね。声がいい。作ってない。自然にあの声だからね。喉が楽器。(略)なぜよくわかるかと言うと、あがたの声はどんなマイクを使っても同じ声なの。普通は変わる」(＝久保田麻琴『愛は愛とて何になる』での発言。281頁)

あがた森魚★プロフィール

●1948年9月12日、北海道生まれ●1972年「赤色エレジー」でデビュー。当時、アメリカのコンテンポラリーなフォーク・ロックやヒッピー・ムーブメントなどに強い影響を受けながらも、その影響下に留まらず日本の大正や昭和のロマンティックな大衆文化を彷彿とさせるオリジナリティあふれる音楽世界を創り出していった。デビュー・アルバム『乙女の夢』以降、『噫無情』『日本少年』『永遠の遠国』とあがた森魚世界観をはらんだアルバムを発表しながら70年代を駆け抜けた●80年代にはヴァージンVSを結成しA児と名乗り「星空サイクリング」などを発表。87年には当時のタンゴ・ブームとも折り合った『バンドネオンの豹』を発表。ワールド・ミュージックへと視野を広げ90年代初頭には、雷蔵を結成しアルバムをリリース。プラネタリウム・コンサート「プラネッツ・アーベント」などの様々な企画ライブ、映画製作や文筆活動等々多岐にわたりながらオリジナル・アルバムを次々とリリース●21世紀に入り、初のベスト盤『20世紀漂流記』。久保田麻琴、鈴木惣一朗、HARCOらの才能とともに『佐藤敬子先生はザンコクな人ですけど』を発表●2003年、田中泯(舞踏)とのコラボレート「架空」公演を新しく試み好評を得る。また、NHK教育番組「バケルノ小学校」のオープニングテーマを歌い、小学生までファン層が広がった●2004年には、あがた森魚自身がセレクトしたベスト・アルバム『星繁き牢獄の提督たちへ』、サウンド・プロデュースに青柳拓次(リトルクリーチャーズ)を迎えたサント・ドミンゴ(ドミニカ共和国)レコーディングのオリジナル・アルバム『ギネオベルデ(青いバナナ)』をリリース●2007年デビュー35年を迎え、9月久保田麻琴プロデュースによるオリジナル・アルバム『タルホロジー』リリース。ヴァージンVSコロムビア3部作が紙ジャケット・リイシューリリース●2008年、60歳を迎えライブツアー「惑星漂流60周年!」を全国各地で展開●2009年2月22日、一大記念イベント『Zipang Boyz號の一夜』を開催。2009年10月ドキュメンタリー映画『あがた森魚ややデラックス』完成、渋谷シアターN 渋谷より劇場公開開始(全国順次公開)。『Zipang Boyz號の一夜』完全収録CD盤が3枚組でリリース●2010年9月、映画『あがた森魚ややデラックス』、『あがた森魚とZipang Boyz號の一夜』完全収録DVDリリース。2011年、オリジナル・アルバム『俺の知らない内田裕也は俺の知ってる宇宙の夕焼け』、『誰もがエリカを愛してる』CD2枚を連続リリース。さらに11月にはあがた森魚と山崎優子『コードアルバム』を完成しリリース●2012年、デビュー40周年を迎え記念アルバム『女と男のいる舗道』リリースや記念コンサートを開催、オリジナル・アルバム『ぐすperi幼年期』をリリース。2013年、デビュー40周年記念コンサート(日比谷公会堂)を収録したCD、DVDをリリース、オリジナル・アルバム『噫無情』(1974)を中心とした「噫無情コンサート2013」を、大阪・茨木、神奈川・座間で開催。12月にはオリジナル・アルバム『すぴかたいず』をアナログ盤でリリース●2014年『浦島64』(窪田晴男サウンド・プロデュース/LP、CD、ジャケット:横尾忠則)をリリース。2015年『浦島65BC』(窪田晴男サウンド・プロデュース/LP、CD、ジャケット:横尾忠則)をリリース。2015年『浦島65XX』(CD、ジャケット:横尾忠則)をリリース●2016年『近代ロック』(鈴木惣一朗サウンド・プロデュース/CD)をリリース。2017年4月デビュー45周年を迎えあがた森魚&はちみつぱいオリジナル・アルバム『べいびいろん(BABY-LON)』(CD)を三浦光紀プロデュースによりリリース。ドキュメンタリー映画『佐藤敬子先生を探して』制作開始。11月25日小樽市立入船小学校閉校式へ参加。2018年『理想の靴下と船』(CD)三浦光紀プロデュースによりリリース。2019年5月24日、映画『嵐電』ロードショー公開。サウンドトラック盤(CD)をリリース●2019年12月18日『観光おみやげ第三惑星』(CD)をリリース。2020年12月12日『浦島2020』(CD)三浦光紀プロデュースによりリリース。2021年12月22日2010年代ベスト『浦島二千十年代選集』(CD2枚組)リリース。2021年12月29日あがた森魚るびい『わんだあるびい2021』(CD)リリース●2022年デビュー50年の節目を迎え57タイトル、全733曲のサブスクリプション解禁●2022年7月20日、デビュー50周年記念4枚組ボックスCD「ボブ・ディランと玄米」(61曲収録。ブリッジ・レーベル)発売。2022年9月22日に50周年記念音楽會渋谷公会堂を開催。9月27日初の伝記本「愛は愛とて何になる」(あがた森魚、今村守之著)を小学館より刊行。2022年12月28日あがた森魚るびい『わんだあるびい2022』(CD)リリース●埼玉県川口市在住。